

【2024年12月本委員会検討経緯】 創作手話(新規)…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1 どくそうてき 独創的	「独創」…独自の新しい考え・思いつきで、ものごとをつくり出すこと。(例:「独創性に富む」など) 「独創的」…独創する能力があるさま。また、独創されたものであるさま。 (例:「独創的な人」「独創的なアイデア」など) (goo国語辞書)		北海道	●	「自分」+「右手人差指をこめかみにつけ、上げて伸ばす」+「的」	● 組み合わせ	9班の案を参考に考案した。 ＜自分自身＞の表現が必要。 ⇒＜自分自身＞+＜アイデア＞+＜合う＞○ 的＞ ※北海道班・関東班・四国班の案を採用
			東北	●	「発明」「創る」「的」の表現		
			関東	●	「自分」+「アイデア、発想」+「的」		
			北信越	●	ひらめく/～的		
			東海	保	口につけて(せんすいのいきつぎに似て)三重の古い手話		
			近畿	ア	鼻の前をパチンとはじくように人差し指を立てる		
			中国	●	自分 + 的		
			四国	●	/自分自身/思いつく/的		
			九州	●	アイデア + 作る + 的		
2 りべんせい 利便性	「利便」…都合のよいこと。また、そのさま。便利。 (例:「使う人の利便を図る」「利便な方式」など) 「利便性」…便利であること。また、便利さの程度。 (例:「利便性の向上」「利便性を提供する」「利便性に優れる」「利便性が高い」など) (goo国語辞書)		北海道	●	指文字「り」+「便利」+「性」	● 組み合わせ	9班とも＜便利＞の表現を使っていた。＜便利＞は2種類みられたが、協議の結果、あごをなでる表現を選択した。 ⇒＜便利＞+＜性格＞○ 質＞ ※東北班・北信越班①・東海班・近畿班・四国班①案を採用
			東北	●	「便利」+「性」の表現		
			関東	△	「便利」①あごをなでる ②手の甲をなでる		
			北信越	●	A:便利(頬の下)/性 B:便利(手の甲)/性		
			東海	●	便利 + 性質		
			近畿	△	「便利」		
			中国	△	便利		
			四国	●	/便利①顎を撫でる②手の甲を撫でる/性		
			九州	●	便利 + 性		
3 こうわ 講和	交戦国が、互いに協定を結んで戦争をやめ、平和を回復すること。(例:「講和を結ぶ」など) (goo国語辞書)		北海道	●	「仲良く」+「平和」	ア アレンジとの組み合わせ	「講和」は戦争が終わった後に結ぶので、＜平和＞の表現を入れた。 ⇒＜平和＞の2動作目+＜契約・締結＞ ※中国班の案を採用
			東北	●	「契約」+「平和」の表現		
			関東	●	「戦争」+「友だち(和)」		
			北信越	●	仲間/平和		
			東海	●	平和 + したい		
			近畿	●	「友達」+「契約」		
			中国	△	平和		
			四国	●	/講/和(手を取り合う)/		
			九州	●	平+復活(後のほうからもってくる)		
4 ないせん 内戦	国内における、同じ国民どうしの戦い。内乱。 (goo国語辞書ほか)		北海道	●	「内」+「戦う」	● 組み合わせ	9班ほぼ同じであり、そのまま採用とした。 ⇒＜内・内側＞+＜戦争＞ ※関東班・東海班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	「国」+「内」+「戦争」の表現		
			関東	●	「内」+「戦争」		
			北信越	●	内/荒い		
			東海	●	内 + 戦争		
			近畿	●	「内」+「戦争」		
			中国	●	内 + 戦		
			四国	●	/内側/戦争/		
			九州	●	内+戦い		
5 しんかん 震撼	ふるい動かすこと。また、人をふるえあがらせること。(例:「世間を震撼させた事件」「つげんの侵攻に世界が震撼した」など) (goo国語辞書ほか)		北海道	◎	左手掌に親指を立てて右手をのせ、震わせる	＜震撼A＞ △ ラベルの追加	9班からはいろいろな案が出たが、大きく分けると手を震わせる動作と、足に見立てた2指を震わせる動作のどちらか、2つとも採用とし、A・Bとした。 ＜震撼A＞ ⇒＜こわい・スリラー・臆病＞と同じ ※東海班・中国班の案を採用 ＜震撼B＞ ⇒＜寒い・ホラー＞と同じ ※班の案の採用なし
			東北	●	「怖い」+「鳥肌が立つ(両手を交差させる)」		
			関東	保	両手を前に出し、少し震えて固まる。表情を付ける		
			北信越	ア	鳥肌が立つイメージ(動画の通りです)		
			東海	△	震える立場		
			近畿	◎	震え + 両手を交互に震わす様子		
			中国	●	びびる		
			四国	保	両手で鳥肌が立っていく様子		
			九州	ア	心配を上にくくりと動かす		
6 りやくだつ 略奪	暴力的にうばい取って自分のものにする。こと。 (例:「現金輸送車を略奪する」「略奪者」など) (デジタル大辞泉ほか)		北海道	○	「右手5指を前へ出す」+「取る」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、両手表現・片手表現があったが、片手表現のほうが強引な印象があり、「略奪」の意味に合っているということで採用した。 ⇒＜獲得(取る)(取得)・奪う＞と同じ ※水平の動作で強めに表す ※中国班・九州班の案を採用
			東北	●	「しっかりと」+「奪う」の表現		
			関東	◎	両手で前方をつかんで素早く手前に引く		
			北信越	保	A:(人の場合)親指を奪うイメージ B:(物の場合)奪う		
			東海	●	ムツ + うはう		
			近畿	◎	襲って奪う様子		
			中国	△	奪う		
			四国	ア	強く奪い取る様子		
			九州	保	うばいとる		
7 きょうがく 驚愕	非常に驚くこと。驚駭(きょうが)といふ。 (例:「市中を驚愕させた事件」など) (goo国語辞書ほか)		北海道	●	「びっくり」+「驚く」	△ ラベルの追加	9班の案を参考にして、目玉が飛び出る表現を採用した。 ⇒＜驚くD(びっくり)・たまげた＞と同じ ※北信越班・中国班の案を採用
			東北	●	「驚き」+「びっくり」の表現		
			関東	保	両手の5指を曲げ指先を胸に当てて引き上げる		
			北信越	保	びっくりする様子		
			東海	●	驚く + オーバー		
			近畿	◎	「驚く」+ 目が飛び出る様子		
			中国	●	目 + 出る		
			四国	保	飛び上がるほどびっくりする様子 高く表現する		
			九州	ア	非利き手でC+利き手でバンチ		
8 アンダーパス(地下道)	自動車道や線路などが平面に交わってしまうことのないよう、高架橋や地下道を設置することで立体化された場所のことを立体交差といい、このとき設置される地下道のことをアンダーパスという。路面から下に掘り下げ、交差する相手方の道路の下を通る格好となる。(グリーンネット)		北海道	ア	左手掌の下に前へ出す	◎ 新規	9班の案を見ると、左手の下に右手をくぐらせる表現が多かったが、手の形やくぐらせ方には差が見られた。アンダーパスを通るのは車だけではない。人や2輪車にも使える表現かつ、くぐる前の下り坂とくぐった後の上り坂をきちんと表す手話を考えた。 ⇒両手掌を下に向け、左手の下を右手をくぐらせて前方で指先を上げる ※東海班・中国班・九州班の案を採用
			東北	●	「地下」+「車」の表現		
			関東	◎	掌下向きの左手の下を、指先前、掌下向きに伸ばした右手をくぐらせる		
			北信越	○	地下に道があるイメージ		
			東海	◎	手形で地下から上に		
			近畿	◎	片手の下にもう一方の手で車が下にもぐる様子		
			中国	○	橋 + 出る		
			四国	ア	/地下道/のアレンジ 上に上がる様子を加える		
			九州	ア	非利き手の掌を下に向け、利き手で車が進むを表現		

9	さいけん 再建	① 焼けたり、壊れたりした建造物を建て直すこと。(例:「倒壊した家屋を再建する」など) ② 衰えたり、うまくいけなくなったりした会社や団体などをあらためて組織しなおすこと。(例:「落ち目の政党を再建する」など) ③ 負傷、手術などで失った部分をシリコンなどの人工素材を使ったり、自身の体の組織を移植したりして元のように形作ること。(例:「再建術」など) (goo国語辞書ほか)	北海道	ア	「再び」	△ ラベルの追加	<また>+<建つ>、つけ合わせた両拳を立てる<復帰・復旧>の表現も見られたが、協議の結果、右拳を弧を描いて左拳にのせる<復活・復興>を選択した。 ⇒<復活・復興・生き返る・返り咲く・創立>と同じ ※ 関東班・北信越班の案を採用
			東北	●	「戻る」+「建てる」の表現		
			関東	△	「復活、復興」		
			北信越	保	戻る		
			東海	◎	又 + もちなおす		
			近畿	ア	つぶす + やり直し		
			中国	△	戻る		
			四国	●	／再び／建てる／		
			九州	●	改める+復旧		
			10	しんか 真価	本当の値うち。物や人のもつ真の価値や能力。(例:「真価が問われる」「真価を發揮する」など) (goo国語辞書ほか)		
東北	●	「本当」+「評価」の表現					
関東	●	「本当」+「価値」					
北信越	●	本当/価値					
東海	◎	本当 + 価値					
近畿	●	「本当」+「価値」					
中国	△	価値					
四国	●	／真実／価値／					
九州	●	本当+力+表現					
11	きょうそう 共創	異なる立場や業種の人・団体が協力して、新たな商品・サービスや価値観などをつくり出すこと。 (goo国語辞書)				北海道	●
			東北	●	「共」+「創る」の表現		
			関東	●	「一緒、共に」+「作る」		
			北信越	●	共に/作る		
			東海	◎	共 + 作る		
			近畿	●	「一緒」+「作る」		
			中国	○	両方 + 作る		
			四国	●	／一緒／つくる／		
			九州	●	一緒+作る		
			12	ペア	① 二つでひとつ揃いとなるもの。二人または2個で一組になっているもの。また、夫婦・恋人などの一組。一対。 (例:「カップをペアで買う」「ペアルック」など) ② テニス・バドミントン・卓球などで、ダブルスのゲームの組のこと。 ③ 漕艇(そうてい)で、二人こぎボートのこと。また、そのレース。 ④ 「ペアスケータリング」の略。(goo国語辞書ほか)	北海道	ア
東北	●	「人差し指」+「中指」の表現					
関東	保	左手2指を立てて右手で包み込み上に抜く。					
北信越	保	A:両方一緒 B:(恋人夫婦など)男女ふるふる					
東海	◎	2本指を合わせる					
近畿	ア	片手で二本を作り、もう一方の手でまとめる					
中国	保	ペア					
四国	保	左手2本の指を右手で握って上にあげる					
九州	保	ペア(非利き手を2+利き手でまとめる)					
13	じま 磁器	「陶器」…土や粉末状の鉱物を練って成形し、素焼きした後、釉薬(ゆうやく)をかけて1200度程度で焼成した焼き物。一般的な食器の他、花器のような工芸品に分類されるものなどに多く使われる。 「磁器」…主な原料は石で、釉薬をかけて1300度以上の高温で焼成した焼き物。素地のガラス質が磁化して半透明となり吸水性がなく、弾くと金属的な清音がするのが特徴です。家庭用の食器としてよく使われています。 ※<陶器・瀬戸・備前A(マップー66・92)>はあるが、「陶器」「磁器」の手話表現をどうするか?改めて検討してください。				北海道	ア
			東北	●	「磁石」+「鍋」の表現		
			関東	◎	掌右向きに立てた左手の掌を右手掌でこすり上げ5指を小刻みに揺らす。+「鍋」		
			北信越	●	石/皿(福井のろう職人が実際に表現している)		
			東海	◎	石 + 陶器		
			近畿	◎	「陶芸」の表現で薄くあげる様子		
			中国	●	石 + 皿		
			四国	ア	／指文字ジ/器 陶器の/どう/も指文字		
			九州	●	石+皿		
			14	ていがくげんぜい 定額減税	2024年6月より1年間実施される、4万円(所得税3万円+個人住民税1万円)を減税する経済施策。近年の物価上昇による国民の負担を軽減するため、政府は税収の一部を国民に還元する制度として「定額減税」を2024年6月より1年間実施することを決定した。	北海道	●
東北	●	「下がる」+「税」の表現					
関東	●	「定」+「税」+「割引」+「収入」(お金が入る)					
北信越	●	定/減る/税					
東海	◎	定 + 税 + 下げる					
近畿	◎	「定期」+「減らす」+「税」					
中国	●	定 + 減 + 税					
四国	●	／決まった/お金/下に下げる(減)/税					
九州	●	定+下がる+税					
15	くいさがる 食い下がる	① 食いついてぶら下がる。食いついて離れないでいる。 ② 強い相手に粘り強く立ち向かい、どこまでも粘る。粘り強く追及する。 (例:「納得するまで質問して食い下がる」など) ③ 相撲で、相手の胸に頭をつけて前揮(まえみつ)を引き、腰を低くして組む。(goo国語辞書)				北海道	●
			東北	●	「会う」を近づけながら前に出す		
			関東	◎	左手人差し指を立て手前に右手「又」を水平に置き、同時に手前に動かす。		
			北信越	保	開き直る様子(「負けたくない」表情を付ける)		
			東海	保	(わがまま似ている)		
			近畿	○	人差し指をもう一方の人差し指で追って離れない様子		
			中国	○	男 + 捕まる		
			四国	◎	左親指を立て、右手でそこに食らいつく様子 表情重視		
			九州	●	ふられる+ついでいく		

16	みがもたない 身が持たない	体力の限界を越える。健康を維持できない。 (例:「こう徹夜続きでは身が持たない」など) (goo国語辞書)		北海道	●	「体」+「限界」	● 組み合わせ	9班の案を見て、<身体><ばあ>か<身体><限界>で意見が分かれた。使いやすいということでは<ばあ>を使った表現を選んだ。 ⇒<体・身体>+<ばあ>(両手) ※北信越班・近畿班・中国班の案を採用
				東北	●	「お手上げ」の表現		
				関東	●	「体」+「最高(限界)」		
				北信越	●	身体/パー		
				東海	●	限界 + お手上げ		
				近畿	○	「体」+ パー		
				中国	●	身 + ばあ		
				四国	保	/体/参った/ 高知では/体/つぶれる/と表現する		
				九州	●	身体+パー(利き手)		
				17	しんきいてん 心機一転	あることを境目にして、がらっと心の持ちようが変わること。「心機」は、心の働きや動きの意味。「一転」は、がらっと変わること。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典)		
東北	●	両手で「変わる」の表現						
関東	●	「気持」+「変わる」						
北信越	●	気持ち/変化						
東海	●	心 + 切り替える						
近畿	○	「心」+ パツ変わる様子						
中国	●	決意 + 変わる						
四国	●	/新しい/変わる						
九州	●	心+変える(両手)						
18	いちいせんしん 一意専心	他に心を向けずに、一つのことだけに気持ちを集中させること。「一意」は、ひたすら一つのことだけに心を用いること。「専心」は、心をそのことに注いで熱心に行くことで、専念と同義。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典)	中国班より。 ※若乃花が大関の伝達式で使用。				北海道	●
				東北	●	両手で「夢中」の表現		
				関東	◎	掌を耳に向けて立てた両手を近づけながら前に出す。		
				北信越	●	視野が狭い/ひとすじ		
				東海	●	「一」+ 集中		
				近畿	●	「集中」+「熱心」		
				中国	●	集中 + まっすぐ		
				四国	●	/一つ/集中する/		
				九州	●	まっすぐ+一生懸命		
				19	こぐんぶんとう 孤軍奮闘	助けのない場所で、少数の味方だけで死力を尽くして戦うこと。援助なしで1人で努力すること。「孤軍」は、援軍がない孤立した軍隊。「奮闘」は、勇気をふるって敵と戦うことの意味。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典)	中国班より。	北海道
東北	●	「自分」+「頑張る」の表現						
関東	●	「自分」+「踏ん張る、穴をまくる」						
北信越	●	孤独/努力						
東海	●	孤独 + 人差し指 + 手のひらで戦う						
近畿	◎	「孤立」+「頑張る」						
中国	●	孤独 + 集中						
四国	ア	/自分自身/頑張って動くようす 表情が大事						
九州	●	申し訳ありません						
20	こっきふくれい 克己復礼	自らの強い意志で、欲望や邪心を抑えて礼儀を正しくすること。『論語(ろんこ)』でいう仁の精神。「己(おのれ)に克(か)ち礼(れい)に復(かえ)る(を復(ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典)	中国班より。					北海道
				東北	●	「マナー」+「尊敬」の表現		
				関東	●	「自分」指した右手を左手で右側に押しやる+「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」		
				北信越	●	マナー/ひとすじ		
				東海	●	自分おさえる + マナー		
				近畿	●	「真面目」+「道徳」		
				中国	●	礼儀 + まっすぐ		
				四国	●	/意志/常識/まっすぐ		
				九州	●	申し訳ありません		
				21	たいよう 大要	① 大切など。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左のとおりである」など) (goo国語辞書)		北海道
東北	●	全て+大体						
関東	●	大切 / 前を指差す						
北信越	△	A 大切 B おおまか + まとめ						
東海	●	「だいたい・おおまか」→「大事」						
近畿	●	大事 + ポイント						
中国	△	①大事 ②ほとんど						
四国	△	/大切/						
九州	保	大切						
22	そな 備える	備える(そなえる)とは、必要な物品や知識、技術などを予め用意しておく行為を指す。日常生活においては、食料や生活必需品をストックすること、災害時に備えて非常用品を揃えることなどが該当する。 また、ビジネスの場面では、必要なスキルや知識を身につけておくこと、将来のリスクに対して対策を立てておくことも「備える」の一環である。 (実用日本語表現辞典)						北海道
				東北	◎	両掌を向き合わせたまま、右へ移す		
				関東	保	用意(する)、準備(する)		
				北信越	○	「想像」+「準備」		
				東海	△	「準備」にラベル追加		
				近畿	ア	「準備」の形で横にポンポンと3回移動		
				中国	△	準備		
				四国	△	/準備/		
				九州	保	準備		

23	るいぎご 類義語	語形は異なっているが、意味の似かよっている二つ以上の語。「家」と「住宅」、「言う」と「話す」などの類。(goo国語辞書)		北海道 ● 右手人差し指立て、左手人差し指右へ移動 + 「言語」 東北 ● 小指を立て左右へ引き離す + 語 関東 ● 似ている / 右手だけで「単語」 北信越 ○ 「似ている」+「単語」 東海 ● 「似ている」→「語(句)」 近畿 ● 似る + 語 中国 ● 似てる + 単語 四国 ● /意味/同じ/語/ 九州 ア 似ている + 言葉	<似ているB> 保 保存手話 <類義語A> ● 組み合わせ <類義語B> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、<単語>を使う班と<語>(または<言語>)を使う班に分かれている。この場合は、「似ている単語」の意味。また、標準手話<似ている>を確認。 <似ている>…2指を立て、前後に重ね合わせた両手を左右へ引き離す 9班の案に多く見られる表現を「B」とすることに。 <似ているB> ⇒<似ている>の <small>小指を重ね右手だけをやや右斜め前に動かす(2回繰り返してもOK)</small> <類義語A> ⇒<似ている>+左手残して、右手<単語> <類義語B> ⇒<似ているB>+左手残して、右手<単語> ※関東班・東海班・九州班の案を採用
24	るいじ 類似	互いに共通点があること。似かよふこと。(例:「筆法が類似している」「類似品」など)(goo国語辞書)		北海道 ● 「種類」+「似ている」 東北 ◎ 小指を立て左右へ引き離す 関東 ● 似ている / 通じる 北信越 △ 似ている 東海 △ 「似ている」にラベル追加 近畿 ア 両手の小指を約束のように重ね合わせる 中国 △ 似てる 四国 △ /似ている/ 九州 ア コピー + 似ている	<類似A> △ ラベルの追加 <類似B> △ ラベルの追加	9班に倣い、本委員も「似る」と同じ表現でよいと意見が一致した。 <類似A> ⇒<似ている>と同じ <類似B> ⇒<似ているB>と同じ ※北信越班・東海班の案を採用
25	こんげつ 根絶	悪弊などを根本から徹底的に絶やすこと。ねたやし。(例:「暴力団を根絶する」など)(goo国語辞書)		北海道 ● 腕を立てた肘に右手で指さし+ 指さしをしたところを + 「取る」 東北 ◎ 鼻先をかすめるように右手を左方へ振り下ろす + 消える 関東 ◎ 腕を立てた左肘の下で鉄(切る)/ 潰す 北信越 ア 「基」+ 取って捨てる仕草 東海 ◎ 「根・基本」の根の部分はなくす表現 近畿 ア 「根」の元を切るしぐさ 中国 △ 除く 四国 ● /根/捨てる/ 九州 ● 「基本」の非利き手を残す + 利き手で「切る」	○ 合成	「すべて+つぶす」か「根を切る」かで表現案が分かれた。「すべて+つぶす」はわかりやすいが、意味や状況が幅広くなってしまう。標準手話、一つの言葉としては「根を切る」表現が合っているため、創作手話を考えることにした。 ⇒<基づいて>・ 抜本・根本(的) ・デフォルト(I T)の 左肘下を右手2指で切る動作 (<基づいて>と<切る>の合成) ※近畿班①・九州班の案を採用
26	ゆうこう 友好	友人としての親しい交わり。(例:「友好を深める」「友好関係」「友好国」など)(goo国語辞書)		北海道 ○ 左手に右手を添える 東北 ● 友 + 交流 関東 ● 友 / 交流 北信越 ◎? 左右の手を握手させる(優雅に握手するイメージ) 東海 △ 「仲よし」にラベル追加 近畿 ア 「友だち」をぐるっと回す 中国 △ 友情 四国 ア /友達/ を前後に動かす 九州 保 友達	◎ 新規	9班の案を見るとさまざまだあったが、よく似た日本語のことばも多い。標準手話を確認したところ、両手を繋ぐ握手のような表現をこれまで確定していないことがわかり、創作した。 ⇒ 肘を張り、左手4指の指先を右手ではさみ下に2回振る(握手) ※北海道班・北信越班の案を採用
27	ぼうはん 防犯	犯罪を未然に防止すること、そのために講じる手段・対策を指す。犯罪者の目線で自分自身の生活環境・行動・意識をチェックし、問題点を把握すると効果的な防犯対策ができるといわれている。(株式会社アート)		北海道 ● 「右手親指で鼻先を2回払う」+「防ぐ」 東北 ● 左手「防」+ 悪い 関東 ● 不良、悪い / 拒む、拒絶する 北信越 ○ 左手で「防ぐ」+ 右手で「罪」 東海 ○ 「防ぐ(防災などの防)」+「犯(犯罪や犯行の犯)」 近畿 ア 片手で「防ぐ」→もう一方の手で「犯罪」 中国 ● 悪 + 防止 四国 ● /防ぐ/犯人の犯(親指を立てて鼻をこする)学1-292 九州 ア 罪 + 防ぐ	● 組み合わせ	標準手話の<防災>をヒントにして、<防ぐ>と<悪>の合成手話とした。 ⇒ 左手<防ぐ>+左手残して、<不良>犯 ※東海班・近畿班・四国班の案を採用
28	げんたん 減反	コメの過剰生産を抑え、米価を維持するために国がコメの生産量を調整する制度です。田んぼの面積を表す単位である「反」を減らすことからこの名前が付けられました。(Allによる概要) ※減反政策は、食生活の変化でコメが余り始めた1960年代半ばに試験的に実施され、1971年に本格的に導入されました。2018年に約50年の実施を経て廃止された。		北海道 「田」+「間」を横と縦に縮める 東北 ● 田んぼ + 減る 関東 ◎ 米 / 減らす(両掌上下に向い合せ、上の手を下げる) 北信越 ○ 「田んぼ」+「省く」 東海 ● 「米」→「作る」→「(基準値上より)減らす」 近畿 ● 「田んぼ」+「減る」 中国 ● 田 + 半分減らす 四国 ● ア /田んぼ/減るの手話のアレンジ(片手のみ移動させる) 九州 ア 米 + 減らす	<田B> 保 保存手話 <減らすC> 保 保人手話 <減反> ● 組み合わせ	9班の案を見て、「田んぼを減らす」のか「米を減らす」のか検討をした。「田んぼはあるが、米を作らない」という制度なので迷ったが、文字通り田んぼを減らす表現とした。 <田B> ⇒<田>を覆かせて表す <減らすC> ⇒ 指先を前に向けた両手掌を向き合わせ右手を左手に近づける <減反> ⇒<田B>+<減らすC> ※中国班の案を採用
29	こうとう 高騰	物価などがひどく上がること。騰貴。(例:「地価が高騰する」など)(goo国語辞書)		北海道 ● 「物」+「高い」 東北 ◎ 両手(お金)を上へすぐ上げる 関東 保 (物価等)あがる、高騰(学I P306) 北信越 △ 高い(勢いよく表現) 東海 △ (手話学習辞典 P.306記載あり) 近畿 保 値上げの様子 中国 △ 高くなる 四国 ア /値上げ(学1-306)を表情を加え強く表現 九州 保 値上がり(両手)	△ ラベルの追加	「値上がり」をよく表現している<あがる(物価が)>へのラベル追加とした。 ⇒<あがる(物価が)>と同じ ※東北班・関東班・北信越班・東海班・中国班の案を採用

30	みよ 身寄り	身を寄せるところ。親類・縁者。 (例:「身寄りのない老人」など) (goo国語辞書)	北海道	ア	立てた人差し指を中心にして指を下に向けた右手を回す	ラベルの追加 △	身寄りと言えば、多くは親戚親類を指すので、 「親類」のラベル追加とした。 ⇒ 親類A と同じ。(両手2指を立てて重ねた小指を左右へ引き離す) ※四国班の案を採用
			東北	●	両手人差し指の間隔をあける		
			関東	●	親せき / みんな		
			北信越	◎?	両手の人差し指を引き寄せる		
			東海	△	「親戚」にラベル追加		
			近畿	●	親戚 + 友達		
			中国	△	親戚		
			四国	△	/親戚/		
31	お気に入り	好みに合うこと。好ましく思うこと。また、その人や物。 (例:「社長のお気に入り」「お気に入りの店」など) (goo国語辞書) Webブラウザの機能の1つで、何度も訪れるWebサイトのアドレス(URL)を記録しておくためのもの。 (IT用語辞典 Web制作会社.com)	北海道	ア	①「好き」+両手を合わせる ②「好き」+人差し指を胸をつける	ラベルの追加 △	9班の案を見ると、<好き>、<合う>が多かった。検討した結果、<好き>にラベル追加すること。 ⇒ 好き と同じ ※東海班・四国班の案を採用
			東北	◎	合う		
			関東	◎	両掌上下に向い合せて「合う」/左掌の上で「真っ直ぐ」		
			北信越	A	良い B 星が尾を引いて流れる様子(お気に入りマーク)		
			東海	△	「好き、好み」にラベル追加		
			近畿	○	A)好き B)気の合う		
			中国	保	①岡山の手話 ②山口の手話		
			四国	△	/好き/ 表情で表現		
32	お押し	深い愛着を持っており他の方にもおすすりめしたいと思う人物や物を指す表現。特定の人物やキャラクターを好きであることや、ファンであることを表現した言葉。 以前は「○○を推す」という動詞の形で使用されていましたが、現在ではその動詞が名詞化し、上述の説明に合わせて使われている (小学館)	北海道	ア	右手掌に親指を立てた右手をのせ上にあげ、右手2で上にあげる動作	ラベルの追加 △	以前、<一押し(いちおし)>を確定したが、この言葉はどちらかというと物に対して使う。「推し」は、人に対して使うことが多いと思われるため、<勧める>にラベル追加とした。 ⇒ 勧める と同じ(上に2回) ※東北班・中国班の案を参考
			東北	◎	左手の立てた人差し指の背を右手掌で前に押し出すようにした		
			関東	◎	立てた左手親指を右掌で2回軽くたたく		
			北信越	ア	左手の人差し指を、右手でそっと押し出す		
			東海	△	「人気」にラベル追加		
			近畿	△	ささえる		
			中国	△	尊敬か王様		
			四国	ア	笑顔で人差し指を出し、それを掌で押して前に出す様子		
33	やみ 闇バイト	犯罪行為をすることによって報酬を受け取るアルバイトのこと。SNSやブログなどのインターネット上で募集が行われることがあり、「簡単な作業で〇〇万円」「1〇で5万円稼げる楽なバイト」などの言葉で若者を勧誘している。(船橋市公式HP)	北海道	●	「闇」+「仕事」	闇バイトA ● 組み合わせ 闇バイトB △ ラベルの追加 闇バイトB ● 組み合わせ	9班の案を見ると、「闇」を<ダメ>、<秘密B・暗黙>、<罪>、<裏+悪い>などさまざまな表現が見られた。標準手話を確認すると<闇>(夜+見えない)の表現があったため使うことにした。また、隠れて行うことが意味に合うので、<秘密>に「闇B」のラベルを追加し、A・Bを提案すること。 <闇バイトA> ⇒ 闇+ 暗黙 > <闇バイトB> ⇒ 秘密B・暗黙+闇B > ⇒ 秘密B・暗黙+闇B+ アルバイト > ※関東班・東海班の案を採用
			東北	◎	隠し + お金をもらう		
			関東	●	両手開き小指を付けて右側を隠す / アルバイト		
			北信越		「ダメ」+「仕事」		
			東海	●	「隠れる」→「アルバイト」		
			近畿	●	罪 + バイト		
			中国	●	隠す + 仕事		
			四国	ア	目を隠した状態で横を向いて / 仕事/		
34	ほうじ茶	煎茶や茎茶、番茶などを強火で焙じて製造したものをいいます。番茶との違いは焙じているかいないか。(ちきりやHP)	北海道	●	指文字「ほ」+「お茶」	保留	「焙じる」「煎ずる」の表現を考えたが、お茶の専門家に聞いてから検討すること。または来年度の「創作手話コンテスト」課題にしたい。
			東北	◎	指文字で「ホ」+ 茶		
			関東	◎	煮る / 香りをかぐ / お茶		
			北信越	ア	指文字「ほ」を回す + お茶を注ぐ仕草		
			東海	●	「茶色」→「茶」		
			近畿	●	わかす + 茶		
			中国	●	ほ指文字 + 茶		
			四国	保	鍋で回しながら煎る様子をして / 茶/		
35	煎茶	煎茶は緑茶の中の一つの種類。緑茶は、生のお茶の葉を発酵させずに製造した不発酵茶で、煎茶(せんちゃ)、玉露(ぎょくろ)、番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちゃ)、焙じ茶(ほうじちゃ)など、さまざまなお茶をまとめた呼び名を指す。その中で現代の日本人が日常に飲んでいる緑茶の代表が煎茶。日光を遮らずに栽培し、茶葉を蒸して揉みながら乾燥させたものです。(水と生きるSUNTORY)	北海道	●	指文字「せ」+「お茶」	保留	「焙じる」「煎ずる」の表現を考えたが、お茶の専門家に聞いてから検討すること。または来年度の「創作手話コンテスト」課題にしたい。
			東北	◎	指文字で「セ」+ 茶		
			関東	◎	両手で茶葉をもむ仕草 / お茶		
			北信越	ア	前 + お茶を注ぐ仕草		
			東海	●	「蒸す」→「茶」		
			近畿	●	茶・茶・茶 (3回繰り返す)		
			中国	●	せ指文字 + 茶		
			四国	●	/せん(指文字)/茶/		
36	しめじ	味にくせがなく、和洋中いろいろな料理に使いやすいことで人気のぶなしめじ。しめじは、「占地、湿地」と書き、一面にたくさん生えるという「占める」と、湿地に生える「湿る」の2つの意味を表す。(キューピー)	北海道	○	右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り右手上に動かす	新規 ◎	9班の案は、どの班もしめじの形を模してわかりやすい表現であった。<えのきだけ>や<まいたけ>などの標準手話と区別できる表現を選んだ。 ⇒ 指先を上に向けた左手の指先を5指をつまんだ右手を位置を変えて3回つける ※北信越班・近畿班・中国班の案を採用
			東北	◎	左の指文字で「シ」+ きのこと		
			関東	◎	すばめた左手指先に右手指先を円を描くように数回付ける		
			北信越	◎	左手で軸の部分を表し + 右手で傘を表現		
			東海	◎	左手「石突き」の形 + 右手2指の輪を回らせる		
			近畿	◎	片手の指先にもう一方の手で花のように表す		
			中国	あ	しめじの形		
			四国	◎	/さ/ 逆向き/その上を輪にした2指を移動させる		
九州	ア	たてた左手の親指から小指へ右手の指を丸め順に移動する					

37	テザリング	Wi-Fi対応のパソコンやゲーム機などからスマートフォン、もしくは4Gケータイをアクセスポイント(Wi-Fiルーター)としてインターネット接続できる通信機能。 「テザリングオプション」をご利用いただくと、Wi-Fiに対応したゲーム機やパソコンを自宅や外出先でインターネットに接続できるようになります。 (Softbank)	北海道	●	左手拳に指文字「ひ」のをせ一周 + 「関係」	保留	本委員会では表現を考案したが、日本語のラベル表記を確認する必要があるため、保留。
			東北	◎	インターネット共有のマークの形から表現		
			関東	◎	国際手話指文字「W」/ 右手掌下向きで指先を前に出す		
			北信越	○	左手はスマホを持つ形 + 右手を広げ、ネットワークを表現		
			東海	◎	両手2指の輪をくっつける(テザリングのマークをイメージ)		
			近畿	ア	スマホを電波が通って広がる様子		
			中国	●	スマホ + センサー+接続		
			四国	◎	テザリングのマーク /c/を横向けにして上下噛合わせる		
			九州	●	両手「d」をつくり、関係		
			38	さかな (魚などの) あかみ 赤身	① 動物、特に魚の肉の赤い部分。⇒白身。 ② 木材の中心部の赤みを帯びた堅いところ。心材。⇒白太(しらた) (goo国語辞書)		
東北	◎	「赤」+ 右手で胸を下に向け、ゆっくり下げる					
関東	●	赤 / 刺身					
北信越	○	「赤」+ 指差し					
東海	●	「赤」→「(指文字の)み」					
近畿	ア	赤 + 片手の甲をなでる					
中国	●	赤 + 身					
四国	保	/赤/身をつまむようす					
九州	●	赤 + 非利き手を利き手でつまみフェードアウト					
39	さかな (魚などの) しろみ 白身	① 肉、特に魚肉の白い部分。また、タイ・ヒラメなど、肉の白い魚。(例:「白身の魚」など) ② 卵の中身の、黄身(きみ)を包む透明な部分。卵白。 ③ 材木の、色の白い部分。しらた。(goo国語辞書)				北海道	●
			東北	◎	「白」+ 右手で胸を下に向け、ゆっくり下げる		
			関東	●	白 / 刺身		
			北信越	○	「白」+ 指差し		
			東海	●	「白」→「(指文字の)み」		
			近畿	ア	白 + 片手の甲をなでる		
			中国	●	白 + 身		
			四国	保	/白/身をつまむようす		
			九州	●	白 + 非利き手を利き手でつまみフェードアウト		
			40	たけのこ 筍(タケノコ)	イネ科の植物。竹の地下茎から伸びた若い茎がたけのこで、竹の種類や大きさによって、味などが違う。 地上に出て、一旬(10日間)で竹になるので、筍(たけのこ)という漢字で書かれます。 (Yahoo!キッズ)	北海道	●
東北	◎	「筍」の形からしぐさ					
関東	保	タケノコ(学 I P471)					
北信越	◎	両手で指文字「は」を重ね合わせ、タケノコの形を表現					
東海	△	(わたしたちの手話学習辞典 P.471記載あり)					
近畿	保	筍を表す様子					
中国	●	竹 + 大きくなる					
四国	×	学1-470 /たけのこ/					
九州	保	たけのこ					
41	ヒヤシンス	ユリ科ヒヤシンス属の多年草。地中海沿岸のギリシャやシリア、レバノンが原産。 3月から4月ごろ、短い花茎をのぼして小さな花を咲かせる。花には甘い芳香があり、花色も赤色やピンク色、白色、青色、紫色などと豊富。 名前は、ギリシャ神話の美少年ヒヤキントスに由来します。別名で「にしきゆり(錦百合)」とも呼ばれる。 (アタリヤ農園)				北海道	○
			東北	◎	指文字で「ひ」+ 花		
			関東	◎	左手人差し指立てた外側で、指先つけた右手5指を開閉しながら上に動かし指先の所で開く		
			北信越	◎	左手人差し指で茎を表し+ 右手で花びらを表現。上から下へ。		
			東海	◎	左手人差し指の上から下へ花びらが咲いている様子を右手で表現		
			近畿	◎	ヒヤシンスの様子を表現		
			中国	○	ヒヤシンスの形		
			四国	●	/花/ヒヤシンス(指文字9)		
			九州	ア	花 + 両手でヒヤシンスの形を下から上に表現		
			42	もふもふ	動物の毛などが豊かで、やわらかいさわり心地であるさま。名詞的にも用いる。 (例:「もふもふした子猫」など)	北海道	ア
東北	◎	やわらかい					
関東	◎	両手指先を柔らかく開閉しながら頭から肩まで下げる					
北信越	◎	身体の前で「ふわふわな雲」の手話を表現。					
東海	◎	左手肩から手首の方に、右手を乗せて柔らかい感じで動かしながら移動					
近畿	◎	柔らかく両手で表現					
中国	△	ふわふわ					
四国	ア	やわらかい様子					
九州	ア	両手で抱いて、頬をこすりつけるようなしぐさ					
43	シマエナガ	鳥の亜種であるシマエナガは、スズメ目エナガ科の鳥。常に5~10羽ほどの群れを形成して生活している。 体長は約10~14cm、体重は10gほどとスズメよりも小柄。「雪の妖精」と呼ばれている。(サンシャイン水族館いきふめーしょん) ※縮模様が無いのに「シマ」がつくのは、「縞」ではなく「島」。生息地の北海づからついた名前だから。				北海道	●
			東北	◎	やわらかい+ 鳥		
			関東	◎	もふもふ / 鳥		
			北信越	◎	左手を「C」の形にし + 右手でくちばしを表現		
			東海	×	(東海班は日常生活で見ることがないため)		
			近畿	ア	鳥 + もふもふ		
			中国	●	もふもふ + 鳥		
			四国	●	/鳥/シマエナガ(指文字)		
			九州	●	雪 + 鳥		

44	うぐいす 鶯	スズメ目ウグイス科の鳥で、全長14-16cm、東アジアに分布。日本では全国で見られる。「ホーホケキョ」という鳴き声で、「春告鳥」とも呼ばれている日本三鳴鳥の一種。スズメ大で、背面はあせたオリーブ色をしており腹は白い、脚の付け根は薄い肉色をしている。顔の特徴としては、嘴が黄色く白い眉斑が走っている。(目に見える生き物図鑑)	北海道	●	右手「歌」+左手「鳥」	● 組み合わせ	日本三鳴鳥(ウグイス、オオトリ、コマドリ)がいるが、歌うように鳴くのはウグイスだけ。「春を呼ぶ鳥」とも言われているが、「歌」の表現を採用することになった。9班の案を見ると、北海道班の案が近い。<鳥A>…羽根の表現⇒大きい鳥の場合に使う<鳥C>…口ばし2回⇒小さい鳥の場合に使うのルールに合わせて、<鳥C>を使うことに。 ⇒左手<鳥C>+左手残して、右手<歌> ※北海道班の案を参考
			東北	◎	指文字で「ウ」+鳥		
			関東	●	声 / 鳥		
			北信越	○	「春」+くちばし		
			東海	○	「(指文字の)う」+「鳥」		
			近畿	●	ほ↑+鳥		
			中国	●	春+鳥		
			四国	●	/鳥/うぐいす(指文字)		
			九州	●	鶯の目元の線を書く表現+鳥		
45	はくちょう 白鳥	カモ科ハクチョウ属の水鳥の6種の総称で、現生の空を飛ぶ鳥の中では最大級の大きさ・重量を有している。日本で越冬する白鳥は、オオハクチョウとコハクチョウの2種類である。(茨城VRツアー)	北海道	●	「白」+「鳥」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<白>+<鳥>の組み合わせが多い。<赤>+<白>を間違わないように表す必要がある。羽ばたく動作は、あまりバタバタしないので、すし優雅に動かしたい。 ⇒<白>+<鳥A>(はばたく) (優雅に羽ばたくように表す) ※北海道班・北信越班・東海班・近畿班・中国班四国班◎・九州班の案を採用
			東北	◎	白+鳥		
			関東	●	白 / 鳥		
			北信越	保	「白」+鳥が羽ばたく仕草		
			東海	●	「白」→「翼・羽」		
			近畿	●	白+羽根を広げる		
			中国	●	白+鳥(飛ぶ)		
			四国	保	/白/鳥(羽)または片手で白鳥の胴体を表現しもう一方の手で羽を表現		
			九州	●	白い+両手を羽にみたく動かす		
46	さぎ 鶯	鳥綱ペリカン目サギ科(Ardeidae)に属する。この科には世界で約60種が記録されており、形態や生態は多様。サギ鳥は長い脚と首が特徴的で、静かに水辺を歩き、急な動作で水中の魚や小動物を捕食する。(チバニアン兼業農学校HP)	北海道	○	2指をつまんで長くし動かす+左手「鳥」	● 組み合わせ	「サギ」には後頭部2本の羽があるとは限らない。ゆっくりとした動きも特徴的だが、通訳の時ばかりはやりにくい。また、飛ぶときに首をS字型に曲げる特徴があるが、<コブラ>に似ているように見えるため却下。9班の案を見ると、東海班の案がシンプルで良いということ意見がまとまった。 ⇒左手指文字<サ>+左手残して、右手<鶴> ※東海班の案を採用
			東北	◎	指文字で「サ」+鳥		
			関東	保	指文字「む」を口の前から弧を描いて2回前方に動かす		
			北信越	保	鶯のくちばしの形を表現(新潟の手話)		
			東海	○	「(指文字の)さ」+「鶴」		
			近畿	ア	鳥の手話を手前へ持っていく		
			中国	●	2本の飾り羽+鳥(飛ぶ)		
			四国	保	/鳥/頭の部分の特徴を表現(長い毛)		
			九州	ア	指文字「ろ」で鼻の位置から口ばしの形をつくる+鳥(両手)		
47	かもめ 鷗	チドリ目カモメ科の鳥。全長約45センチ。背が灰色のほかに白く、くちばし・足が黄色。ユーラシア・北アメリカ北部に分布。日本には冬鳥として海岸や港に渡来する。(goo国語辞書)	北海道	○	「黄色」+2指をつまんで動かす+「鳥」	保 保存手話	9班の案を見ると、両手を手首で交差させて羽ばたく表現が多く、保存手話と見られる。そのまま採用とした。 ⇒両手を手首で交差させ、羽ばたくように左斜め上へ3回動かす ※関東班・北信越班・東海班・近畿班・九州班の案を採用
			東北	◎	指文字で「カ」+鳥		
			関東	保	両手を手首で交差させ羽ばたかせて右前方に動かす		
			北信越	保	両手でカモメが飛ぶ様子を表現		
			東海	◎	両手を交差させてかもめの羽ばたきをイメージ		
			近畿	ア	両手を重ねて、鳥がはばたく様子		
			中国	●	か指文字+鳥(飛ぶ)		
			四国	保	両手人差し指で飛んでいく様子を表現		
			九州	●	指文字「く」鳥の羽ばたく様子を表現		
48	インコ	オウム目オウム科のうち、羽冠をもつ大型のオウム類を除いた鳥の総称。鳥の中でも特におしゃべりが上手な品種で、ペットとして愛されているセキセイインコが有名。(コトバンクほか)	北海道	○	口のところで2指をつまんで曲げる(口ばし)+「鳥」	ア アレンジ	9班の案を見ると、指文字「イ」をつかった表現、しゃべる鳥の表現などが見られたが、東海班の表現を参考にして、<鳥C>の動きをアレンジとした。 ⇒口元で、指を折り曲げた人差し指に親指の先を入れ人差し指の先を2回動かす (<鳥C>のアレンジ) ※東海班の案を参考
			東北	◎	指文字で「イ」+鳥		
			関東	◎	甲を口につけた右手2指の指先を2回付ける		
			北信越	◎	口の前でくちばしバクバク(おしゃべりを表現)		
			東海	◎	右手を指文字Tのようにしてくちばしの動きをイメージ		
			近畿	ア	おしゃべり+鳥		
			中国	●	イ+鳥		
			四国	●	/鳥/ インコ		
			九州	●	1 LOVE YOUの親指と人差し指で鳥を表現し口元にもっていく		
49	きじ 雉	キジ目キジ科の鳥。全長は、雄が尾が長いので80~100センチ、雌が50~60センチ。雄は暗緑色を主とする多彩な色で、目の周りに赤い肉垂れがある。雌は全体に褐色。北海道を除く日本各地の明るい林や草原にすみ、地上で餌をとる。雄はケンケンと大きな声で鳴く。日本の国鳥。(goo国語辞書)	北海道	○	2指をつまんで前に出す+左手2指をつまみながら後ろへ	● ボツ	既存手話でOKとした。
			東北	◎	指文字で「キ」+鳥		
			関東	◎	赤 / 5指を開きながら両手を頭の左右で後ろに動かす / 鳥		
			北信越	ア	日本(尾羽)+鳥(日本の手話と長い尾羽の手話表現が似ている)		
			東海	◎	左手を鳥のくちばし、右手を左手から横方向に尻尾のイメージで動かしていく		
			近畿	●	日本+鳥		
			中国	●	日本+鳥		
			四国	×	学2-181		
			九州	●	両手で目の周りの肉垂れを表現+鳥(両手)		
50	ぶんちょう 文鳥	インドネシア原産のスズメ目カエデチョウ科に属する小鳥で、英語名は「Java sparrow」です。体長は約15cm、体重はおおよそ25gです。滑らかで光沢のある羽毛がきれいなことや、目の周りの赤い縁取りが特徴として知られている。江戸時代から日本に輸入され、観賞用として多くの人々に親しまれてきた。(東京ECOいきもの図鑑)	北海道	●	「文」+「鳥」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、だいたい同じ表現だが、標準手話の<文>+<文章>を区別する必要がある。<文>…両手の親指のつけ根で組み合わせる<文章>…両手の親指のつけ根で組み合わせ、下へ下ろす ⇒<文>+<鳥C>(口ばし2回) ※東北班・東海班・近畿班の案を採用
			東北	◎	文+鳥		
			関東	◎	指先左で右手人差し指(おみくじ)を口に当てる / 鳥		
			北信越	○	「文」+くちばし		
			東海	◎	「文」→「鳥(くちばし)」		
			近畿	●	文+鳥		
			中国	●	文+鳥		
			四国	●	/文/鳥/		
			九州	●	文+鳥		

51	カスハラ(カスタマーハラスメント)	<p>カスタマーハラスメントの略称。顧客や取引先などからのクレーム・言動のうち、当該クレーム・言動の要求の内容が妥当性を欠いているもの、また当該要求を実現するための手段・態様が社会通念上不相当であり、それらによって従業員の就業環境が害されるものを指す。</p> <p>【以下、該当例】「身体・精神的な攻撃」「威圧的な言動」「土下座・行き過ぎた謝罪の要求」「繰り返される執拗な言動」「不退出、居座り、監禁など」「性的な言動や性差別」「従業員個人への要求」「商品や金銭の要求など」</p>	※意味に合わせた表現となっているため「ハラスメント」の標準手話は作っていません。<パワーハラスメント(2011-29・学Ⅱ-334)> <人種ハラスメント(2017-16)> ほか	北海道	○ 「客」+右手指を曲げ、親指の上から下に動かす	<p><ハラスメント> ア アレンジ</p> <p><パワーハラスメントB> ア アレンジ</p> <p><人種ハラスメントB> ● 組み合わせ</p> <p><カスハラ(カスタマーハラスメント)> ● 組み合わせ</p>	<p>「〇〇ハラスメント」が多数ある。今後の確定のために「ハラスメント」の手話を作ることに。<いじめる>とも区別したい。</p> <p><ハラスメント> ⇒左手人差し指の上で右手掌を強く右へ回す (<パワーハラスメント>の②を人差し指にかえて表すアレンジ)</p> <p>従来の表現に加え「B」を作った。 <パワーハラスメントB> ⇒<パワーハラスメント>の①②とも左手は人差し指にかえて表す <人種ハラスメントB> ⇒<人々>+<ハラスメント> <カスハラ(カスタマーハラスメント)> ⇒<客>+<ハラスメント> ※北信越班・東海班の案を参考</p>
				東北	◎ 不満 + パワーハラスメント		
				関東	● 客 / オーバー / 怒られる		
				北信越	○ 「客」+「ハラスメント」		
				東海	○ 「お客」(上の空間で表現)→「ハラスメント」		
				近畿	● お客 + いじめる		
				中国	● クレーム + 怒る		
				四国	● /不満/ を立てた親指に向けて上から押しつける		
				九州	● 客 + 圧		
				52	スポハラ(スポーツハラスメント)		
東北	◎ スポーツ + パワーハラスメント						
関東	● スポーツ / オーバー / いじめる						
北信越	○ 「スポーツ」+「ハラスメント」						
東海	○ 「スポーツ」→「ハラスメント」						
近畿	● スポーツ + いじめる						
中国	● スポーツ + 怒る						
四国	● /スポーツ/ を立てた親指に向けて上から押し付ける						
九州	● スポーツ + 圧						
53	はずかし辱める	<p>① 恥をかかせる。恥辱を与える。(例:「満座の中で辱められた」など)</p> <p>② 地位や名誉などを傷つける。けがらす。また、自分の力量以上の地位や役職につく。(例:「母校の名を辱める」など)</p> <p>③ 女性を犯す。凌辱する。(例:「暴漢に辱められる」など)(goo国語辞書)</p>				北海道	ア・○ ①「傷つける」 ②両手人差し指をクロスし右・左に下げる
				東北	◎ 左親指を立て、右人差し指で力強く動かす		
				関東	● 恥 / 立てた左手親指を右手人差し指で指す		
				北信越	△ 「侮辱」		
				東海	ア 「侮辱(P.119)」を相手側へ		
				近畿	保 自分にむけて親指を切る様子		
				中国	保 傷つける		
				四国	ア / 恥じ/(×)を体当てる		
				九州	ア 罰をつくり下のほうへ押し出す		
				54	きょうよう強要	<p>無理に要求すること。無理やりさせようとする。こと。(例:「寄付を強要する」「自白を強要する」など)(goo国語辞書ほか)</p>	
東北	◎ 無理 + 指名						
関東	保 顔の横で2指の指先を強く2回付ける / 強く指示						
北信越	○ 「無理やり」+ 指差し						
東海	△ (わたしたちの手話学習辞典Ⅱ P.199記載あり)						
近畿	ア 無理 + やらせる						
中国	● 無理やり + 怒る						
四国	● /無理やり/指さして命令する様子						
九州	保 圧(上から強く)						
55	バリエーション	<p>① 物事の変化。また、物の変型・変種など。</p> <p>② 変奏曲。(goo国語辞書)</p>					
				東北	◎ 立てた左手掌 + いろいろ		
				関東	保 指先前の右手2指を数回返しながら左から右に動かす		
				北信越	◎ 左掌を上に向け + 指文字「は」を表・裏・裏と異動		
				東海	△ 「分科(会)」にラベル追加		
				近畿	ア 「方針」の片手をいろいろの表現で		
				中国	● 色々 + 変化		
				四国	ア /種類/のアレンジ 右手を丸めて開く		
				九州	ア 非利き手の掌を上、利き手で「色々」		
				56	せんび線引き	<p>① 線を引くこと。</p> <p>② 計画・予定などを図面・グラフ上に線を引いて表すこと。(例:「都市再開発の線引きが遅滞する」など)</p> <p>③ 日限・数量などを区切ること。また、物事の境界を決めて分けること。(例:「合格者を5人までと線引きする」「公私の線引きを図る」など)</p>	
東北	◎ 左手の小指側に沿って右手人差し指を右へ動かす						
関東	保 指先下向きの右手人差し指で左から右へ線を描く						
北信越	保 5本指で身体の前に線を引く仕草						
東海	◎ 右手人差し指で線を中央に横切るように切る						
近畿	ア 体の前の方で横に線を引くように表現						
中国	● 線 + 横						
四国	保 線を引く様子						
九州	保 利き手で線を引く表現						
57	まえむき(かん前向き(考)え・姿勢)	<p>① 正面に向くこと。前方に向くこと。まむき。(例:「前向きに座る」など)</p> <p>② 物事に対する姿勢が積極的、建設的であること。(例:「前向きに考える」など)(goo国語辞書ほか)</p>					
				東北	◎ 前 + 考える		
				関東	保 小指下側で立てた右手を3回前方に動かす		
				北信越	△ A 前+前(軽く表現) B 積極的		
				東海	△ (わたしたちの手話学習辞典Ⅱ P.128記載あり)		
				近畿	△ 積極的		
				中国	△ ①前 ②前 + 一歩		
				四国	ア 前方に掌を押し出す		
				九州	保 一生懸命		

58	シチュエーション	① 境遇。立場。状態。 ② 事態。形勢。局面。 ③ 3 小説・劇・映画などで、筋を展開させるために設定された状況。(goo国語辞書ほか)	北海道	○	左手の上に右手2指を立てせる + 左手の下に右手を入れ回す	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、ほぼ同じ表現だったためそのまま採用とした。 ⇒<状態・風潮・局面・事態・加減>と同じ ※東海班・近畿班・中国班・四国班の案を採用
			東北	◎	場所 + 場所 + 状況		
			関東	●	場所 / 状況		
			北信越	◎	「場面」+「様子」		
			東海	△	「状況」にラベル追加		
			近畿	△	場面		
			中国	△	状態		
			四国	△	/状態/		
59	おそろしい	① 危険を感じて、不安である。こわい。 (例:「恐ろしい目にあう」「戦争になるのが恐ろしい」「ほめるだけほめて後が恐ろしい」など) ② 程度がはなはだしい。 ③ 驚くほどすぐれている。はかりしれない。 (例:「恐ろしく頭の回転が速い」など) ④ 驚きあきれるほどである。ひどい。 (「こんなことも知らないとは恐ろしい」など) (goo国語辞書ほか)	北海道	ア	「怖い」両手を縦に握り横に震わす	<こわいC> △ ラベルの追加 <恐ろしい> △ ラベルの追加	9班の案を見ると、両手を震わす表現が多く、<寒い・冬>にラベル追加とした。 <寒い・冬>に「怖い」のラベルがなかったため、こちらも追加した。 <こわいC> ⇒<寒い・冬・冷たい・冷めるA・アイス・ホラー・冬季>と同じ <恐ろしい> ⇒<寒い・冬・冷たい・冷めるA・アイス・ホラー・冬季・こわいC>と同じ ※北海道班・東北班・東海班・中国班・九州班の案を採用
			東北	◎	こわい		
			関東	保	左掌に曲げた右手2指を立て(足)小刻みに揺らす		
			北信越	保	両手を合わせ、身体の全面から左顔の横へ(富山の高齢女性の手話から)		
			東海	△	「怖い」にラベル追加		
			近畿	△	怖い		
			中国	保	怖い		
			四国	ア	指をやや曲げた手を当て、左右に揺らすように動かす		
60	よけい 余計	① 物が余っていること。必要な数より多くあること。また、そのさま。余り。余分。(例:「一人分切符が余計だ」など) ② 普通より分量の多いこと。程度が上なこと。また、そのさま。たくさん。(例:「いつもより余計に食べる」「余計な苦労をする」など) ③ 必要な度を越えてむだなこと。また、そのものや、そのさま。(例:「余計なことまでしゃべる」「余計なお世話だ」など) (goo国語辞書ほか)	北海道	ア	①「もつと」 ②「支障」	△ ラベルの追加	物が余っていること、普通より分量の多いこと、必要な度を越えて無駄なことを意味する。そのため、「余っている」「超えている」の表現が必要で、「不要」はその結果である、という意見もあったが、「不要」の意味で使うことが多いということで採用した。 ⇒<不要・不要不急>と同じ ※九州班の案を採用
			東北	◎	オーバー		
			関東	保	オーバー		
			北信越	△	①オーバー ②もつと		
			東海	ア	「倍・もつと」の左手を5の形を横にしたものに変更		
			近畿	ア	A)じやま B)もつと		
			中国	保	①余り 2,3 → 倍		
			四国	保	/もつと/の手話で、不満そうな顔で表現する		
61	ギャップ	① すきま。間隙(かんげき)。 ② 大きなずれ。懸隔。食い違い。(例:「世代間のギャップを感じる」など) ③ 登山用語。稜線がV字形に深く切れこんでいる所。きれつと。 ④ スキーで、斜面上の凹凸。	北海道	ア	「差がある」	ア アレンジ	9班の案を見ると、ずれている、差があることを表す表現が多かった。<ずれる>を、立てて表現することでまとまった。 ⇒<ずれる(2020年12月確定)>(わかせる)を立てて表す (<ずれる>のアレンジ) ※関東班の案の両手を上下に動かす
			東北	◎	両手指文字「コ」の指先をつけ、前後へ引き離す		
			関東	◎	両手2指の指先を向い合せ、右手を下に動かす		
			北信越	△	①差 ②ズレ ③谷 ④凸凹		
			東海	△	「差・差別」にラベル追加		
			近畿	ア	両手を上下に広げる		
			中国	○	①隙間 縦×2 2,3→差		
			四国	△	/ずれる/		
62	こんぜつ 根絶	悪弊などを根本から徹底的に絶やすこと。ねだやし。(例:「暴力団を根絶する」「ポリオ根絶」など) (goo国語辞書ほか)	北海道		「根絶」※5と同じ	No.5と重複	
			東北	◎	No.5に同様 悪い + 無くす		
			関東		※NO.5		
			北信越		NO5にて		
			東海	×	5と同じのため		
			近畿		前述 (No.5)		
			中国		5番と同じ		
			四国				
63	すば一つかいにお スポーツ界 けるぼうりょくこ における暴 ういとうこんぜつせ 力行為等根 んげん 絶宣言	スポーツ界における暴力行為が大きな社会問題となっている今日、スポーツの意義や価値を再確認するとともに、我が国におけるスポーツ界から暴力行為を根絶するという強固な意志を表明するもの。 平成25年4月25日に、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟および日本中学校体育連盟の5団体が開催した「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」において採択。(日本オリンピック委員会:抜粋)	北海道		※文章通り	保留 ※パブリックコメント募集し、「根絶」を本確定してから組み合わせ、「特集:東京2025デフリンピック関連用語」にて公開する	
			東北	◎	スポーツ + 悪い + 無くす + 宣言		
			関東	●	スポーツ / 暴力 / 潰す / 宣言		
			北信越	○	「スポーツ」+「侮辱」+「根絶」+「宣言」		
			東海	●	「暴力」→「根絶」→「宣言」		
			近畿	●	スポーツ + 人 + いじめる + やめる		
			中国	●	スポーツ + 暴力 + 根絶 + 宣言		
			四国	●	/スポーツ/世界/指さし/暴力/行為/根絶/宣言		
64	ターゲット	① 標的。まと。また、販売などの対象。 (例:「若い女性をターゲットにした雑誌」など) ② 物理学で、高速の粒子を当てる電極。 (goo国語辞書ほか)	北海道	ア	「当てる」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、ほぼ同じであったのでそのまま採用。 ⇒<目的>と同じ ※北海道班・関東班・東海班・近畿班・中国班の案を採用
			東北	◎	指文字で「オ」+ 目標		
			関東	△	目的		
			北信越	△	「目標」		
			東海	△	「目標・目的」にラベル追加		
			近畿	△	ねらい		
			中国	△	目標、狙う		
			四国	ア	/目的/のアレンジ 指さしを強調する		
九州	ア	人さし指で + をつくり、まわして前に出す					

65	いれい 慰霊	「慰める」と「霊」という言葉の組み合わせからわかるように、この世を去った人の霊を慰める、つまり故人の冥福を祈るという意味がある。慰霊は、身近な人の死というよりも、自然災害や戦争、交通事故などで命を絶たれた人に向けた思いを表す言葉である。「追悼」は亡くなった人と親しかった人がその死を悲しんだり、思い出したりする行為を指し、慰霊は故人の死後の幸福を祈る気持ちを表す。(家族葬のファミーユ)	<追悼(新I-169・学II-149)>との使い分けを検討してください。	北海道	ア	「霊」	<慰霊A> △ ラベルの追加	<慰霊B> △ ラベルの追加	<慰霊A> ⇒<祈る・祈禱>と同じ (両手を合わせ頭を少し下げる) ※東北班・東海班・中国班の案を採用
				東北	◎	祈り			
				関東	保	5指を曲げ掌上向きの右手を上へ動かす(煙)/ 拝む			
				北信越	△	冥福の手話と同じ(左手は手のひらを空に向け + 右手でお参り)			
				東海	△	「拝む」にラベル追加			
				近畿	○	死ぬ + 拝む			
				中国	△	合掌			
				四国	●	/霊(学I-423)/祈る			
				九州	●	非利き手「追悼」拝むのをこす + 幸福			
				66	いれいひ 慰霊碑	事故や戦争、災害などで亡くなった人や動物の霊を慰めるために建立された石碑。鎮魂碑などともいう。霊を慰めるためや、二度とそのようなことがないように戒めることや、警告といった意味をもち、それに沿った文言が碑文として刻まれる。(ウィキペディア)			
東北	◎	祈り + 碑							
関東	●	煙 / 碑							
北信越	ア	左手でお参り + 右手は指文字「ほ」(碑を表現)							
東海	○	「慰霊」→「碑」							
近畿	○	拝む + 建物							
中国	●	合掌 + 碑							
四国	●	/霊(学I-423)/祈る/碑を表現							
九州	●	非利き手「追悼」拝むのをこす + 幸福 + 形(その形にあわせる)							
67	いれいさい 慰霊祭	死者の霊を慰め、鎮めるために行う祭式。(goo辞書)	<偲ぶ(統①-80・学II-149)>				北海道	○	「霊」+ 左手はそのままに右手のみ「式」
				東北	◎	祈り + 集まる			
				関東	●	煙 / 式典			
				北信越	ア	両手でお参り + 式(巻物を広げて読むしぐさ)			
				東海	○	「慰霊」→「お祓い(神を振る)」			
				近畿	○	拝む + 人が集まる様子			
				中国	●	合掌 + 式			
				四国	●	/霊(学I-423)/祈る/式			
				九州	●	非利き手「追悼」拝むのをこす + 幸福 + 祭			
				68	ほうよう 法要	亡くなった方の冥福を祈って、僧侶にお経を唱えてもらい、供養をする仏教儀式のこと。 忌日法要:7日ごとに行われる法要、初七日や四十九日など。 月忌法要:月命日の法要、年忌法要:年単位の命日に行う、一周忌や三回忌など。 追悼法要:追悼の意を込めて行う、百か日法要やお盆、お彼岸の法要。(京ワメモリアル)	<法事(2006-84)>	北海道	○
東北	◎	年 + 祈り							
関東	◎	右手掌上向きで上へ動かす / 寺							
北信越	△	寺(お参り + 木魚)							
東海	△	「寺(木魚を叩く)」にラベル追加							
近畿	○	「寺」の片手を叩く様子							
中国	△	お寺							
四国	●	/拝む/寺							
九州	ア	拝む + 日にち							
69	ほんきょち 本拠地	「本拠」…根本のよりどころとなる場所。根拠。 (例:「活動の本拠を大阪に置く」「生活の本拠」など) 「本拠地」…本拠とする場所。活動のよりどころとなる所。 (goo国語辞書ほか)	<拠点(2021-67)>動画サイト					北海道	○
				東北	◎	指文字「ホ」+ 抛地 + 場所			
				関東	保	基礎 / 場所			
				北信越	ア	本当 + あたり + 場所			
				東海	ア	左手を「基本」、右手を左手肘下で水平に円を描いてから「場所」			
				近畿	ア	「基本」の隣に「所」を表現			
				中国	●	本 + 基地・?			
				四国	ア	/拠点/掌で円を描き、その位置を指し示す			
				九州	●	本当 + 場所			
				70	ぜんはんせん 前半戦	競技や試合などの前半の部分。 「選挙の前半戦を有利に進める」⇔後半戦。 (goo国語辞書ほか)	<前半(統①-123・学I-388)>	北海道	○
東北	◎	前半 + 戦う							
関東	●	前 / 試合							
北信越	○	前半 + 戦							
東海	◎	左手(5の形)を中央に置き(手の平を顔方面)、右手をその位置から手の平を後ろ方面に移動させる+「戦い」							
近畿	●	「前半」+「戦」							
中国	●	前 + 試合							
四国	●	/前半/試合							
九州	●	間(右の位置で) + 戦い							
71	さいかい 再開	いったん閉じていたものを、中断していたものを、再び開いたり、始めたりすること。また、再び始まること。 (例:「試合を再開する」など) (goo国語辞書ほか)	<再開(統①-123・学I-388)>					北海道	●
				東北	◎	再び + 開く			
				関東	●	復活 / 始める、開く			
				北信越	保	戻る + 始める			
				東海	○	「もう1回」→「始める」			
				近畿	●	「再び」+「開く」			
				中国	△	戻る、再び + 開く			
				四国	●	/起こす(再び)/開く/			
				九州	●	又 + 始める			

72	さいかい 再会	長く別れ別れになっていた人 どうしが、再びめぐりあうこと。 (例:「再会を期す」「三〇年ぶ りに再会した友」など) (goo国 語辞書ほか)		北海道	●	「また」+「会う」	● 組み合わせ	<再開>を参考にして、<再会>も考案。 ⇒<また・再び・並びにA>+<会う>(左右 から) (<会う>は、状況に合わせて前後の動作に) ※北海道班・東北班・北信越班B・近畿班・中 国班・九州班の案を採用
				東北	◎	再び + 会う		
				関東	保	久しぶり / 会う		
				北信越	保	A 又+合う B 久しぶり+合う		
				東海	○	「もう1回」→「会う」		
				近畿	●	「また」+「会う」		
				中国	●	また会う		
				四国	●	/起こす(再び)/会う/		
				九州	●	又 + 会う		
				73	たいにん 退任	任務をやめること。役目をしり ぞくこと。 (例:「任期途中で退任する」な ど) (goo国語辞書ほか)		
東北	◎	降りる						
関東	保	引退、退く						
北信越	保	左手の甲から + 親指を立てた右手を降ろす						
東海	△	「辞任・引退」にラベル追加						
近畿	ア	親指をたてて、片手の平から降りる						
中国	△	降りる						
四国	●	/責任/辞める/						
九州	●	責任 + 降りる						
74	ゆうたい 勇退	自ら申し出て会社を辞めたり、 職や立場を退いたりすることを 意味する言葉で、後進や後輩 に立場を譲るときややさしく 立場を退くときに用いられる。 主に、実績のある人が、立場を 譲るときに、周りの人が敬意を 払う意味で用いられることが多 い表現。 (ビジネスチャット)					北海道	○
				東北	◎	提出 + 降りる		
				関東	●	決意 / 退任		
				北信越	ア	肩書を譲る + 降りる		
				東海	○	「決意する」→「辞任・引退」		
				近畿	ア	尊敬して、片手の平から降りる		
				中国	●	任せ + 降りる		
				四国	ア	掌に乗せた親指(上の方で表現)を下にゆっくり おろす		
				九州	●	任せる + 降りる		
				75	じたい 辞退	勧められたことを遠慮して断る こと。また、自分の既得の地 位・権利などを遠慮して放棄 すること。 (例:「出場を辞退する」など) (goo国語辞書ほか)		北海道
東北	◎	自分 + 降りる						
関東	△	A断る B辞める、辞退(する)						
北信越	ア	A 辞める B 遠慮する						
東海	△	「断る」にラベル追加 (※別の意味で わたしたちの手話学習辞典 P.67記載あり)						
近畿	ア	「断る」						
中国	△	やめる						
四国	ア	掌に乗せた人差し指を外す						
九州	●	辞める						
76	こうこくとう 広告塔	① 企業や団体の宣伝のため に目立つ所に設置された構造 物。(例:「ビル屋上の広告 塔」など) ② 企業や団体の宣伝の役割 を担う有名人。 (例:「党の広告塔として活躍 する」)「動く広告塔」など) (goo国語辞書ほか)						北海道
				東北	◎	報告 + 有名		
				関東	●	呼びかける / 表す		
				北信越	ア	広告 + 顔が広い		
				東海	○	「広告」→(細長い)「建物」		
				近畿	●	A) 広告 + 塔 B) 広告 + 人		
				中国	●	広報 + 表す		
				四国	ア	/広告/の表現を前方に出す		
				九州	●	宣伝 + 出る		
				77	していしょねつひな 指定暑熱避 難施設(クー ーリングシ ェル ター)	気候変動適応法に基づいて、 適当な冷房設備を有する等の 要件を満たす施設を、誰もが 利用できる暑さをしのげる施設 として、市町村長が指定した 施設のこと。熱中症特別警戒 情報(熱中症特別警戒アラ ート)が発表されたときに、あらか じめ公表している開放可能日 等において開放することとなっ ている。(愛知県HP)		北海道
東北	◎	空気 + 屋内 + 地定 + 場所						
関東	●	そこ(指差し) / 涼しい / 場所						
北信越	○	気温上昇 + 避難所						
東海	○	「涼しい」→「避難」/所						
近畿	●	涼しい + 施設						
中国	●	暑い + 逃避 + 場所						
四国	●	/指定/暑い/逃げる/施設						
九州	●	涼しい + 指定 + 施設						
78	ぜんぶん 前文(ぜん ぶん・まえぶ ん)	① 前の方に書いた文。(例: 「前文に述べたとおり」など) ② 手紙の冒頭に書く、時候の あいさつや安否のうかがいな どの文。 ③ 法令の条項の前に置かれ ている文章で、制定の趣旨や 基本原則などを記すもの。まえ がき。 (例:「憲法前文」など) (goo 国語辞書ほか)						北海道
				東北	◎	前半 + 人		
				関東	◎	上/折り曲げた右手二指を左から右へ(文、段 落)		
				北信越	○	前(後方) + 文		
				東海	○	「最初」→「文章」		
				近畿	●	前 + 文		
				中国	●	上の線 + 文		
				四国	●	/前もって/文		
				九州	●	一番 + 文章		

79	ほっきにん 発起人	① 思いつて事を始める人。発起者。 ② 株式会社設立を企画して、定款に署名した者。		北海道	●	「世話」+「人たち」(1回)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、ほとんどの班が「アイデア」を使っているが、「人」の部分は「人々」と「人」(空書)に分かれていた。「発起人」は個人を指すので「人」を使うことに。 ⇒<アイデア>+<人>(人差し指で空書) ※東北班・関東班・東海班・近畿班・九州班の案を採用
				東北	◎	発明 + 人		
				関東	△	アイデア、発想/人(空書)		
				北信越	○	思いつく + 人々		
				東海	○	「発想・思いつく」→「人」		
				近畿	●	発明 + 人		
				中国	●	発明 + 人		
				四国	●	/きっかけ/人(人差し指)		
				九州	●	思いつく + 人		
80	とつぼう 突風	突風は、大気の状態が非常に不安定になって積乱雲が急激に発達したときに発生するおそれがあります。 突風にはおもに3つの種類があります。 ①強い上昇気流によって発生するのが「竜巻」。 ②積乱雲から吹きおろす強い下降気流が地表に衝突して水平に吹き出すのが「ダウンバースト」。吹き出す範囲は、数百メートルから10キロ程度とされています。 ③積乱雲から吹き出した冷たい空気の塊が温かい空気の側に流れ出すことにより発生する「ガストフロント」。(NHK今から防災)	<つむじ風(2016-42)> <竜巻B(2020-17)>	北海道	●	「突然」+「暴風」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、ほぼ「突然」+「風」の組み合わせ。<風>を2回表現する班が多かったが、突風のイメージから<風>の表現を1回とした。 <風>…大きく1回 <台風>…大きく回すように2回 <風>を2回の班…北海道・東海・中国・四国・九州 ⇒<突然・出し抜け>+<風>(1回) ※関東班の案を採用
				東北	◎	甲を前に向けて立てた右人差し指を回しながら右上方へ上げる		
				関東	●	突然 / 風		
				北信越	○	突然 + 風		
				東海	○	「突然」→「風」		
				近畿	●	突然 + 風		
				中国	●	突然 + 風		
				四国	●	/突然/風/		
				九州	●	突然 + 風		